

スタッフ用運営資料(ケーススタディ)

1. スタッフ

○進行・講師

模擬講義を行なう。ディスカッションの際に議論をリードする。
全体をまとめ、アドバイスを行なう。

○聴覚障害学生

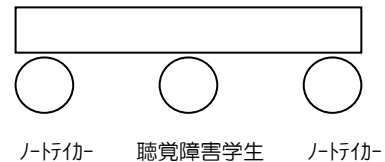
模擬講義に聴覚障害学生として参加し、ディスカッションにも参加する。
※聴覚障害学生がいない場合は、ノートテイク利用体験を参照して参加者が聴覚障害学生役となる。

○ノートテイク経験者

ディスカッションの際に議論をリードする。

2. 座席等レイアウト

○3名（聴覚障害学生1名・ノートテイク2名）を1つのグループとして着席させる。



3. 資料

○参加者配布用

- ・ケーススタディテキスト
- ・講義スライド資料 ※模擬講義2回目で配布
- ・評価シート（ノートテイク用、聴覚障害学生用）
- ・講義スライド資料（読み上げ原稿入り） ※ディスカッション時に配布

○スタッフ用資料

- ・ケーススタディテキスト
- ・講義スライド資料
- ・評価シート（ノートテイク用、聴覚障害学生用）
- ・講義スライド資料（読み上げ原稿入り）
- ・ディスカッションの柱
- ・進行表（ケーススタディ）

4. 使用物品（ ）内は使用場面

- ・パソコン（模擬講義用）
- ・プロジェクター（模擬講義用）
- ・スクリーン（模擬講義用）
- ・マルチトーカーノイズ・ホワイトノイズ・音楽の音源
- ・音源再生用 CD プレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど
- ・ヘッドフォンやイヤフォン
※上記のノイズ、プレーヤー、ヘッドフォン等を用意できない場合、耳栓を使う。
- ・紙、ペン（ノートテイク用）